

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成20年3月5日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目 10 番 31 号 電話 093 (541) 2409 番

戒定慧の三学と六波羅蜜

三桐 慈海

胸の前に静かに手を合わせて、そっと眼を伏せる。この合掌の相ほどすばらしい姿勢はないといえましょう。わたくしたちのこの手のひらは生きるために物を掴んだり触れたりして、休みなく働いています。そのひたすら生きていこうとする手のひらの働きを、両手を合わせることでよってしばらく止息させ、それによって外に向かって動いている心を、素直に内側に向けることができます。心を内に向けるのは、反省をより一層内に深めて、わたくしたちの生きているありさまを、そして生きていく上での拠り所を求めることとなります。日常の生活は生きるための動作が中心となっていますが、生きることの裏側にあって生きることを支えている作用があるはずで、その作用はわたくしたちを生かしているのではありませんが、わたくしたちが生かされていると感じることのできるものです。合掌の相はそのようなあり方を見出すことのできる、人間としての基本的な姿勢なのです。

心を内に向けて静めたうで(止)、あらゆることがらを観察(観)していくことを**禅定**と言います。仏道を歩む者の生活は**戒定慧の三学**を修することにありますが、その戒とは悪を止めて善を修することとされています。善悪とは仏道を歩むことが善であり、それを妨げることが悪であって、人倫的な善悪も広くそこに含まれます。たとえば慈善事業なども「慈悲」と「喜」と共に、してあげたという思いを持つことのない「捨」がなければなりません。戒とはそのように仏道を歩むべく心身の行為を謹み、日常生活の中でいつでも禅定にはいることができるように心掛けることです。禅定にも浅い深いがあることですが、広くは仏のみ教えを聞いていき、その教えを通してものごとを観察し、自らの生きざまを正しく了解する能力を身につけることです。生きることの意味を明らかに了解していく**智慧**を得ることによって、どのように生きるべきかが見えてくるでしょう。

戒定慧の三学は生活の基本的な行為と言えますが、社会生活を営むわたくしたちには、三学を修しやすくするように環境づくりをしなければなりません。社会は人と人との関わりによって成り立ちますから、その間の調和が必要です。そのためには他人に頼らず極端な自我意識を持たず、他の人のためにつくして、しかもそれを思わない。そこに生かされているという報恩の気持ちを維持していくことによって、日常生活が自由にできるように思われます。他のためにつくす**布施**と自らを慎む**持戒**、それに聞法を続けられるように環境づくりしていく**忍辱精進**につながっていきます。そして人間の生きざまを了解する、菩薩行としての**六波羅蜜**に思いを致すことができます。

縁起など身近に使用されていることばも、また少し難解と思われる仏教用語も、それらの意味を正しく理解したうで、日常生活の中に活用させることができます。それはそれらの用語によって、自らの生きている意味を明確にさせることができるはずだからです。



平成19年の忘年会

たくさんの参加でにぎやかに楽しい時間を過ごすことができました。ゲームもがんばりましたね。皆さんありがとうございました。ございました。

早々ですが、今年の忘年会もたくさんの参加をお待ちしています。

12/15 観山荘本館にて

正善寺護寺会会費の納入について

平成19年度の護寺会会費を受け付けています。まだ未納の方は納め下さい。過年度未納の方がありましたら合わせて納入下さい。

正善寺総代会 総代一同

親 鸞 聖 人

2011(平成23)年4月より

七百五十回大遠忌法要

2012(平成24)年1月まで

協賛懇志金納入のお願い

1口 30,000円

まだ納入されていない方は、よろしくお願ひいたします。 住職・総代

本願寺 鎮西別院

報 恩 講 法 要

平成20年4月1日 逮夜より
4月7日 日中まで

法 要 時 間

晨 朝・・・午前7時
日 中・・・午前10時
逮 夜・・・午後1時半
初 夜・・・午後7時

小 倉 組 参 拜

5 日 (土) の 予 定 で す。

小倉組仏教壮年会・総代会

合 同 研 修 会

「宗門に未来はあるのか」

～750回忌法要を控えて～

と き 20年3月24日(月)

午後1時30分より午後4時まで予定

と ころ パークサイドビル9階

小倉北区堺町ローソン横

講 師 上毛組 覺 圓 寺

本願寺派宗会議員(北豊) 霍野廣紹師

男性の方は、ぜひ参加しましょう。

ご 案 内

とき 平成 20年 3月 13日より 14日まで

春 季 彼 岸 法 要

	13日(木)	14日(金)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分
夜 席	午後7時30分 (住職自動)	

講 師 下 関 市

本願寺派布教使 寺 田 教 昭 師

(13・14日昼席のみとなります)

ど う ぞ お 誘 い あ わ せ の う え お 参 り 下 さ い 。



新納骨所永代使用受付中

いつでも見学できます。お気軽に

行事ご案内 【如来大徳の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

4月8日は「お釈迦様の誕生日」みんなで祝いましょう

花まつり・甘露茶接待

【日時】4月8日(火)午前11時より午後1時まで【会場】正善寺・神岳保育園玄関前

小倉仏教会主催 同日 午後1時より

且過丸和前にて開催

かすみ草の会接待当番

5月25日(日) みなさんどうぞお集まり下さい

初参式(しょさんしき)

午前 10 時開式

小さいお子様がお寺の仏様の前で初めてのお参りする儀式です。最近生まれたお子様はぜひ参加しましょう。お待ちしております。

降誕会法要 (ごうたんえほうよう)

この度は、法要法座と致します。

午後1時30分より 住職自勤

法要法座終了後に、お楽しみ抽選会を致します。

浄土真宗の御開山「親鸞聖人」の誕生(5月21日)をお祝いするための法要です。みなでお参り致しましょう。

次回の法要のご案内 永代経法要

【とき】6月5日(木) 昼席・夜席(住職自勤)・6日(金) 昼席(昼席2日間)

【講師】宇部市 西法寺 本願寺派布教使 斎藤芙蓉師

編集後記

梅の香りに春の訪れを感じます。厳しい冬から春への始まりですが、皆様、お元気ですか。

我が家の今年の春の訪れは、長女の要子が京都の大学へ進学していくことです。今は二人でいろいろと新生活の準備をしていますが、いつかこんな日が来るといながらも、今までずっと一緒にいることが当たり前だったので、小さい頃の事などを思い出すと、淋しさと涙が出てしまいます。

私が悲しいことがあると「お母さん」といってずっとそばにいてくれました。悲しさも嬉しさもみんな共にしてくれた娘です。親元を離れて新しい世界に一步を踏み出す娘に、たくさんの方々と尊い縁に遇えること、尊い縁の中には悲しみや苦しみもあること、そしてその時自分の事を見守っていてくれる大きな大きな存在のあることに気づき、全ての事に「ありがとう」と手を合わせていって欲しいと、今は親として念じるばかりです。

春のお彼岸法要、お待ちしております。一人でも多くの方々に法のご縁に出遇っていただければと念じます。